

すくすく みごちっこ

与謝野町立三河内小学校
研究推進だより
令和5年11月17日



学習発表会

気づきを行動につなげ、生き生きと学び続けるみごちっ子の育成
～学校における「つながり」、家庭・地域との連携を通して～

いよいよ、2学期も残り1か月程となりました。子ども達は、学習発表会などの大きな行事を終え、充実感のある2学期を過ごしています。寒さも本格化する中ですが、体調を崩すことなく過ごせるよう、健康安全教育に関わる取組を大切に進めていきます。

10月・11月に実施した健康安全教育に関わる取組を紹介します。

〈目の健康〉



「目の健康」を学ぼう！

10月11日（水）のすこやか朝会では、目の健康について学びました。最近、学校でも家庭でもタブレットやスマホなどの機器を使う場面が増えてきています。ずっと近いところを見続けていると目の形が変わってしまい、遠くがぼやけて見える目になってしまいます。それを防ぐために、遠望視を行うことや、タブレットと目の距離を30センチ離して使用するなど、タブレットやスマホを使うときのポイントを学びました。

すこやか朝会後の学級活動では、「目の健康」に関する学習をしました。低学年は「おめめのめがみさま」という絵本を使って、高学年では、製薬会社の資料を活用して、アイケアスキルについて学びました。



〈健康フェスティバル〉

10月20日（金）、23日（月）、27日（金）に健康フェスティバルを行いました。健康フェスティバルでは、耳に関するコーナー、ロコモチェックコーナー、足指トレーニングコーナー、目のトレーニングコーナーの4つのコーナーを用意し、健康に関する興味を広げるための啓発や取組を紹介しました。子どもたちは事前に自分が行きたいコーナーを決めて参加しました。



〈児童のアンケートから〉

ロコモチェックで、片足立ちでバランスをとることをやっていたから、歯磨きの時に片足立ちをやってみようと思った。

自分は目をつぶって片足立ちしたらすぐにふらついてしまったけれど、普段目を開けてやっているときは、全然ないから、目が働いているんだなと思った。

健康だったところが健康じゃなくなるといけないように生活していきたいと思いました。

足で新聞紙を握ってごみ箱に捨てることに少し苦戦したから足が少し硬いなと思った。